

謹賀新年

年頭にあたって

新年あけましておめでと
ございます。

市民の皆様には、「朝日に一番近いまち根室」の輝かしい平成26年の初春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年、市民待望の「新市立根室病院」が完成しました。ハード面の充実が図られた今、今後はソフト面の充実を含め、市立根室病院の基本理念である「市民に愛され、心の支えとなる病院」の実現に向け、より一層努力してまいります。

また、早いもので「東日本大震災」から、あと2カ月余

りで3年が経過しますが、昨年は、「根室市地域防災計画」の見直しや「根室市津波ハザードマップ」の全面改訂など、この大震災を教訓として、「防災・減災対策」に積極的に取り組む、その重要性を一層強く感じた1年でした。本年も「防災・減災」の取り組みを一層強化してまいります。

北方領土問題では、昨年、安倍総理が日本の総理大臣として、10年ぶりにロシアへ公式訪問し、その後も首脳会談や外相会談が継続的に行なわれるなど、日口間における北

方領土問題の解決に向けた機運は着実に高まっていると感じ、ここ数年が領土交渉の正念場になるものと考えていることから、より積極的な外交交渉の推進を国に対し強く働きかけてまいります。

さて、当市では、平成26年度を最終計画期間とする「第8期根室市総合計画」に基づき、まちづくりを進めてきましたが、人口減少や少子高齢化の進行、市中経済の長期にわたる低迷など、当市を取り巻く社会経済情勢が平成17年度の計画策定時の想定を超えて大きく変化しています。

このため、市民の皆様と目指すべきまちの方向性を共有し、共に取り組むための「まちづくりの指針」となる「第9期根室市総合計画」の策定に向け、「世代を超えてつなぐ協働のまちづくり」、「未来の根室のために」を主眼に置き、昨年からの取り組みを進めています。

本年が市民の皆様にとりまして、ご健勝で幸多き最良の年となりますよう、心からお祈り申し上げますとともに、市政に対する一層のご支援とご協力をお願い申し上げます。



根室市長
長谷川 俊 輔

市民に開かれた議会を目指して

新年あけましておめでとう
ございます。

市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春を迎えられましたことを心からお慶び申し上げますとともに、昨年一年間の議会活動に対する深いご理解とご支援に対し、改めて感謝を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、1月に市民待望の「新市立根室病院」での診療がスタートし、最新の医療サービスを実践できる環境が整備されたことは、市民の生命と健康を守り地域医療を担う病院として、期待されるものであります。

市議会におきましては、定数が20名から18名となった市議会議員選挙が昨年9月に執行され、新たな体制がスタートし、議会改革の一環として制定された議会の最高規範で

ある「根室市議会基本条例」に基づき、「通年議会」へと移行したところであります。

これにより、本会議や委員会がいっつも開け、早急に解決すべき重要案件、災害発生時等の緊急事態にもこれまで以上に迅速かつ柔軟に対応できるなど、今後、さらに市民の皆様のご信頼と負託に応えるべく議員一同、議会活動に全力を傾注して参る所存であります。

本年も、議会報告会等を通じて、より多くの市民の皆様のご意見をいただきながら、議会運営に反映して参りますので、ご理解とご支援を心からお願い申し上げます。

新年を迎え、今年一年が根室市にとりまして、素晴らしい年でありますとともに、市民の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



根室市議会議長
田塚 不二男

子どもたちに充実した教育環境の提供と「心」を育てる活動を

輝かしい平成26年の新春をお迎えのこととお喜びを申し上げます。

「二日(いちにち)の計(けい)は朝(あさ)にあり、一年の計(けい)は元旦(がんたん)にあり」といわれます。

これは何事も最初に計画や準備をすることが大切だという意味ですが、市民の皆さんや児童生徒の皆さんはどのような目標を持って新年を迎えられたでしょうか。

昨年、歯舞地区の歴史ある四小学校を統合し、新生「歯舞小学校」が誕生してからもうじき一年が経とうとしていますが、児童生徒、教職員、保護者の皆様のご協力により歯舞中学校との併置の長所を活かした教育活動が展開されています。

また、厚床地区におきましては、老朽化の著しい厚床小



根室市教育委員会教育長
柴山 能彦

学校を厚床中学校の敷地に移転改築し、小中併置校とするための実施設計を現在進めているほか、落石地区では小学校の統合に向け地域の理解を得ながら取り組みを進めているところであり、根室市の将来を見据えた小中学校の適正配置を進めているところです。

子どもはいつの時代でも地域の「宝」であり、この子どもたちを育てるのは根室市民の責任であり大人の責務です。

このため、充実した教育環境の提供とともに、地域で子どもたちの「心」を育てる活動を市民全体の取り組みとなるよう環境づくりに努めているところです。

子どもたちを地域全体で育てる機運と活動の充実のため、市民皆様にはご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。